競技・ハンディキャップ委員会議事録

競技・ハンディキャップ委員長　　岡田　孝之

日　時：令和7年5月6日　12：00～13：20

①　競技・ハンディキャップ委員新任について

→荻野副委員長　　：2025年4月より競技・ハンディキャップ副委員長就任

→白井委員　　：2025年4月より競技・ハンディキャップ委員就任

②　2025年度スクラッチ選手権報告

●日程・・・【予選】　4月13日（日）　予選参加者33名

【決勝】　4月20日（日）　予選通過者16名

（カットライン86ストローク）

●結果・・・【優勝】遠藤　優太　様　155ストローク　（2019年より6連覇中）

【2位】木村　圭吾　様　159ストローク

【3位】髙梨　善規　様　165ストローク

③　競技参加申し込み締め切りについて

→松本委員より現在競技において遅延プレーが目立っており、より緊張感をもって競技に臨むようにする為、競技参加申し込み締め切りを1週間前とし、組み合わせは事務局側で決定するのはどうかとの意見があった。

⇒すべてのプレイヤーが競技志向という訳ではないので参加者が減少してしまうのではないかとの意見もあった。

■⇒結論が出ないため、継続審議。今後の競技者の動向を見ていく。

必要な場合、議題に上げる。ただし遅延プレー防止の為、競技スタートの案内の時に伝えることと、ルーリングの場としての活用し、競技者の意識を高めていく。

④　クラブ競技コースハンディキャップ換算システム変更について

【◎決定事項】

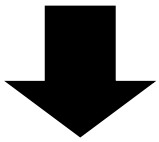
➔現在競技の際に使用しているコースハンディキャップ換算方法を従来のUSGAシス

テムから財団法人日本ゴルフ協会（JGA）の推奨するワールドハンディキャップシステム（WHS）へ変更する。

■コースハンディキャップの計算式

・従来の USGA システム

【ハンディキャップインデックス ×　（スロープレーティング÷113)】



・ワールドハンディキャップシステム（WHS）

【ハンディキャップインデックス ×　（スロープレーティング÷113）

＋　**(「コースレーティング」－「パー」)】**

→今後はこのシステムを使用する。

※《変更日》　令和 7 年 5 月 18 日（日）　月例杯より変更

⑤　シニア選手権マッチプレー化について

→前回継続審議となっていたシニア選手権マッチプレー化の件について

■⇒事務局側で過去 3 年間にシニア選手権に参加経験があるプレイヤーへ聞き取り調査を行った結果、反対意見多数だった為、マッチプレー化は見送りとする。数年後、参加者へ意見を聞く際は書面でアンケートを取り、マッチプレーでの競技参加経験の有無を確認する。

⑥　開場記念杯集計方法変更について

→前回継続審議となっていた開場記念杯集計方法変更の件について

⇒通常のアンダーハンデ競技での集計に加えてペリアでの集計をするのはどうかとの意見があった。

■⇒結論が出ないため、継続審議。WHS システムに切り替わりハンデが変化するのでしばらく様子を見て判断をする。

⑦　5 大競技組み合わせ郵送について

【◎決定事項】

➔ 5 大競技（クラブ選手権・スクラッチ選手権・理事長杯・シニア選手権・

グランドシニア選手権）予選において組み合わせ表の郵送を行っているが、
土日祝日等を挟むと到着が遅れてしまう為、HP メンバー専用ページへの
掲載に変更する。

《変更日》　令和 7 年度理事長杯より変更

※次回の競技・ハンディキャップ委員会は、2025 年 8 月 3 日（日）開催予定。

以上